



<報道関係各位>

2023年4月20日
CRITEO 株式会社

Criteo、「Criteo リテールメディア」をサンドラッグへ導入



コマースメディアを展開する Criteo(クリテオ、本社:フランス、日本代表取締役:グレース・フロム、以下 Criteo)は、株式会社サンドラッグ(本社:東京都府中市、代表取締役社長 CEO:貞方 宏司、以下:サンドラッグ)が運営する公式通販サイト「[サンドラッグ Online Store](#)」(以下、サンドラッグ Online Store)に「Criteo リテールメディア・ソリューション」を導入することを発表しました。

これによりサンドラッグならびにサンドラッグの公式通販サイトを通じて製品を販売するブランドや企業は、ファーストパーティ・データを活用し、買い物客の興味関心に合った関連性に優れた広告をリテールメディアを通じて配信することが可能になります。その結果、最適なオンラインショッピング体験を提供し、エンゲージメントの機会を拡大することで、買い物客を効果的に獲得できます。

デジタル技術の発達や処方薬に関する法規制緩和に伴い、ドラッグストア業界におけるオンライン化の取り組みは加速しています。こうした流れをうけて薬局各社は、消費財を販売する活路として自社 EC プラットフォームのデジタル化に注力しています。さらに、リテールメディア広告市場は 2022 年で 135 億円、2026 年には約 6 倍の 805 億円規模に拡大すると予測*されており、新興企業や業界外からのプレーヤーの参入が相次いでいます。

株式会社サンドラッグ執行役員 EC 事業部事業長である田丸知加氏は次のように述べています。

「サンドラッグは 2023 年 3 月に自社通販サイトを刷新し、リアルとネットを統合する、新しいコマースを立ち上げました。リテールメディアは定義が難しく、単に広告を配信するツールという見方もありますが、リアルとネットを統合したサンドラッグのコマースと Criteo 様のリテールメディアの相乗効果で、広告主様とお客様双方のニーズ



を深く理解することでサンドラッグがより進化し、お客様にさらなる魅力的な体験を提供できることと信じています」

Criteo 北アジア地域最高責任者 兼 日本代表取締役であるグレース・フロム（Grace Fromm）は、次のように述べています。「今回、国内有数の企業であるサンドラッグ社に Criteo のリテールメディアを採用していただけたことを心から光栄に思います。当社のソリューションは、米国大手薬局チェーンなど、ドラッグストア業界においても多くの導入実績があり、Criteo AI エンジンによる分析精度の高さをはじめ、優れた技術力を強みとしています。今後も Criteo は、小売業者およびブランドや企業の収益機会の拡大、そして消費者のオンラインショッピング体験の向上に尽力してまいります」

「Criteo リテールメディア」は、小売事業者のファーストパーティ・データを Criteo の AI エンジンが分析することで、より購買意欲の高いユーザーとそのユーザーにとって興味関心の高い最適な製品をリアルタイムで特定し、パーソナライズされたリテールメディア広告の配信を可能にします。その結果として、効果的なエンゲージメントの機会が提供され、小売業者とブランド広告主の収益の拡大に貢献します。Criteo のソリューションは、「認知」から「獲得」までフルファンネルでのリテールメディア広告キャンペーンが展開できます。さらに、一気通貫でキャンペーンを一元で管理し、成果を可視化するレポート機能も備えています。

* = [2022 年 CARTA HOLDINGS 調査](#)

■ Criteo (クリテオ) について ■

Criteo S.A. (NASDAQ: CRTO)は、より良いコマースの成果をマーケターやメディアオーナーに提供するグローバルコマースメディア企業です。業界をリードするコマースメディア・プラットフォームは、22,000人以上のマーケターと数千以上のメディアオーナーを連携させ、商品との出会いから購入までのより豊かな体験を買い物客にもたします。信頼性に高いインパクトのある広告を提供することで、Criteo は、新たな発見、イノベーションの実現、より豊かな選択を可能にするオープンインターネットを支えています。 ※CRITEO株式会社はその日本法人です。 www.criteo.com/jp/